

日本ソフトボール協会創立70周年記念
第59回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会要項

- | | | |
|----|--------|--|
| 1 | 主 催 | 公益財団法人 日本ソフトボール協会 |
| 2 | 後 援 | 高知県、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、(公財)高知県スポーツ協会、
(公財)高知県観光コンベンション協会、(公財)高知県スポーツ振興財団
NHK高知放送局、高知新聞社、高知放送、テレビ高知、高知さんさんテレビ |
| 3 | 主 管 | 高知ソフトボール協会 |
| 4 | 会 期 | 令和元年7月27日(土)～7月29日(月)(予備日:7月30日(火)) |
| 5 | 会 場 | 高知県高知市春野町 高知県立春野総合運動公園 |
| 6 | 参加チーム数 | 下記のとおりとする。 |
| 7 | 参加資格 | (イ)2019年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して 加盟登録した実業団男子チームに限る。
(ロ)所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。 |
| 8 | 出場資格 | (イ)本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(ロ)選手の編成は、最終予選終了時まで公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。
なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(ハ)チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
※トレーナー1名(トレーナー業務を行う者に限る)、通訳1名(外国人選手がいる場合に限る)のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※監督・コーチの中で次の①～②のいずれかの資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
①公認コーチ1～4(公認ソフトボール指導員・上級指導員、公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ)
②公認準指導員 |
| 9 | 申込み方法 | 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け
6月25日(火)までに到着するよう下記宛に申し込むこと。
(1)〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
※日本協会へは参加申込書(押印のある用紙とプログラム掲載用選手名簿)のコピーのみ送付。
原本は(2)の送付先に送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は所属支部協会に所属支部協会が保存する
登録名簿(B表)と参加申込書の照合確認を受け、登録名簿(B表)の写しも同封し送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は指導者資格登録証のコピーなど資格保有を証する書類
のコピーを添付すること。
(2)〒781-0311 高知県高知市春野町芳原2445-3
全日本大会実行委員会事務局 宛1通
(参加申込書原本、調査書等は(2)宛送付すること) |
| 10 | 参加料 | 1チーム 50,000円
※参加料は下記あてチーム名でお振込みをお願いします。なお、振込手数料はチームにてご負担願います。
四国銀行潮江支店 普通預金 口座番号:5364899
口座名義:全日本大会実行委員会 実行委員長 岡本 友章 |
| 11 | 競技規則 | 2019年度オフィシャルソフトボールルールによる。 |
| 12 | 試合球 | 公益財団法人日本ソフトボール協会検定革製3号球(内外ゴム)とし、主催者が準備する。 |
| 13 | 試合方法 | トーナメント方式による。
3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合は、コールドゲームとする。
サスペンデッドゲームを採用する。 |

- 14 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する。
(3) 3位チームに、表彰状、3位メダルを授与する。
(4) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする。
(5) 高知ソフトボール協会より最大3チームへベストマナー賞を授与する。
- 15 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 16 組合せ抽選 試合の組合せは、6月29日(土)14時より春野総合運動公園管理事務所会議室において、主催者立会いのもとに公開代理抽選によって決定する。
- 17 監督会議 7月26日(金)14時より春野総合運動公園陸上競技場会議室において開催する。
- 18 審判・記録会議 7月26日(金)15時より春野総合運動公園陸上競技場会議室において開催する。
- 19 開会式 7月26日(金)16時よりソフトボール専用球場において開催する。
- 20 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行なうと共に、公益財団法人日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円)の範囲内で補償を行なう。
参加者は全員健康保険証を持参すること。
- 21 その他 (1) 出場チームは必ず監督等によって引率され、監督は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 開会式は監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは原則として棄権とみなす。
(3) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
①棄権チームに対する処置:当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
②棄権チームの所属する支部に対する処置:次年度の同大会の出場資格の喪失
※ 組合せ抽選終了後の出場辞退(チームの変更も含む)も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
尚、事故等による理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。又、この決定については、日ソ協派遣理事及び大会競技委員長で行なう。
(4) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
(5) 雨天等で準々決勝以降の試合が行えず、勝ち残ったチームが8チーム以下の場合は当該チームの抽選により次年度大会への推薦出場の順位を決定する。
(6) 宿泊及び昼食については下記の通り斡旋するので、希望されるチームは下記旅行代理店に直接お問い合わせください。
東武トップツアーズ株式会社 高知支店 担当 林
088-825-0109
(7) 宿泊の斡旋を要しないチームも宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
(8) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
(9) 本大会の試合の一部を動画配信することもありますので予めご了承下さい。
(10) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
(11) 大会参加申込書はパソコン等で作成し明確に記入すること。

参加チーム数

優前年	準優前年	地元	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
1	1	1	0	3	3	2	3	4	5	2	7	32

【本大会の問い合わせ先】

大会実行委員会 事務局 中平 080-2991-9228 池澤 090-8731-3377